

例会報告  
第334回 「やながわ有明海水族館 見学」  
福岡県柳川市 (2024.1.28)

新年はじめての例会はやながわ有明海水族館でした。たくさんの団員さんに集まっていたきました。知っている人も多いと思いますが、この水族館は代々高校や大学の学生が館長を務めています。今回のガイド役は宮崎優作さんです。現館長の亀井さん（現佐賀大学学生）の前の館長さんです。水族館の入り口は、記念撮影を行えるパネルもあり、気軽に入れるような感じでした。さっそく2グループに分かれ、貝殻アートを制作するグループと、館内を見学するグループに分かれて行動しました。館内には大きな水槽があり、そこにはぶくぶく肥えたフナやコイ、そしてソウギョやアリゲーターガーも飼育されておりました。来館者によるエサやりができるようになっており、そのためにきっとこんな大きくなったことだと思いました。夜になるとアリゲーターガーが小さなフナを捕食することもあるそうです。また楕円形をした水槽にもたくさんの魚が泳いでおり、ここもエビなどの餌をピンセットで与えることができました。でも、子供たちからなかなか食べてくれない！との声。そこに宮崎さんが、「きっと魚たちがお腹いっぱいでもう食べてくなくなっただけでしょう。エサは後で片づけるからそのままいいですよ。」と優しく答えてくれました。また、タナゴ類や、オヤニラミ、ゼゼラ、ニホンウナギなどの柳川に生息する淡水魚がいますが、宮崎さん曰く、「実は、多くの生き物は佐賀で採ったものが多いんです。佐賀にはたくさんの自然がまだ守られていて、こういう魚を採ることができるんです。」そして、一つ一つの水槽に館長さんらスタッフの手書きで書かれた解説がされており、生き物を大切に育て守っていきこうという気持ちが伝わってきました。

短い時間でしたが、水族館の見学は終わりで、外に出て宮崎さんと質問タイムです。なかなかたくさん質問は出てきませんでしたが、今後の水族館イベントとして2月25日に柳川のお堀も中に入って生き物採取をするイベントがあるらしく、団員さんはとても興味津々であったようです。ぜひ参加してみたいかたがででしょうか。たくさんの参加者に対して、優しく説明していただいた宮崎さんを始め、柳川水族館のスタッフの方々に感謝を申し上げます。ありがとうございました。（参加者約50人）



本日のガイド役 宮崎さん (左)



水族館入口



貝殻アート製作



思い思いの色に仕上げている



大水槽でえさやり体験



大きな魚がたくさんいるよ



上から観察



横から観察 (ここでもエサやり)



宮崎さんによる投網実演 (収穫は残念)



質問タイム